

# 親子聖書日課

NO.1434 2016.3/20-26 名前

[日]人は目に見える物に頼りがちです。民は主を頼ると言いながら、主ではなく、宗教的儀式(割礼)を頼りました。それは自分を誇ることで、主に喜ばれません。大事なことは「心に割礼」を受けることです。それは心から主に頼ることです。

[月]「人はその道を定めえず」とは本当です。生まれる時も死ぬ時も、全て神が決めて下さいます。自分の力に頼らないで、神に任せるなら、悔いのない最高の人生を送れます。主こそ人生の名が代です。主と主の言葉に従いましょう。

[火]御言葉に聴従しなければ、主は災いを下し、主に助けを求めても聞かれません。人を生かす御言葉は、それを退ける者には、恐るべき死の言葉になります。自分の都合で割引いてはいけません。「契約の言葉」として、聴従しましょう。

[水]人に傷つけられた時、仕返ししたくなります。しかし、エミヤは違います。アナトの人々から命を狙われた時、武力で対抗しません。「正義を持って裁かれる主」に訴え、主に任せたのです。報復は、人間のすることではなく、主のすることです。

[木]「善人が貧しく、悪人が栄えるのは不公平だ」と、文句を言いたくなりますね。しかし、悪人がどんなに「根を張り、育てて実を結んで」も、神は彼らを「その地から抜き捨てる」のです。必ず、悪人の最後は裁かれますから、主に従いましょう。

[金]どんな高価な帯でも、帯だけでは役立ちません。しっかりと腰に結ばれてこそ、帯としての存在価値があるのです。帯は人、腰は神です。神と結ばれている時、役立つ者となります。主から離れては何もできません。御言葉に聴従しましょう。

[土]エミヤは民からひどい仕打ちを受けながらも民のために祈りました。彼らのために涙を流すほど愛しました。しかし、17節を見ると、彼の涙の背後に、主の涙があったのです。私達が救われるために、どれほどの主の涙が流されたことでしょう。



	聖書	問題	答え
日	エレミヤ 9:16-25	何のないイスラエルの家をすべて罰しますか	
月	10:1-25	人はその道をどうすることができませんか。	
火	11:1-17	今日に至るまで、私の声はどうせよと、主は言ってきましたか。	
水	11:18-12:6	私は訴えをあなたに打ち明け、どうしましたか。	
木	12:7-17	もし彼らが従わなければ、民は必ず抜き捨てて、どうされますか。	
金	13:1-27	人は帯をどこにしっかり着けますか。	
土	14:1-22	私の目は夜も昼も何を流し、とどまることがなかったですか。	
感想と祈りの課題			